

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は、栄養学、調理学など、食に関わることを勉強したいと考えていました。そして、同志社女子大学は、少人数制の授業や、ビッグシスター制度など、生徒一人一人を手厚くサポートする制度が充実しており、京都でいておいしい、京料理、京菓子の調理実習にも魅力を感じ、受験することを決めました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

私は、5月中旬に部活動を引退し、受験勉強を始めました。もともと暗記することが得意だったので、部活で忙しかった頃は、定期テストの勉強は短期記憶で済ませていました。でも短期間で覚えただけはすぐに忘れてしまうので、範囲が單元ごとになっている学校のテストでは点数が取れ、範囲の広い模試では点数がとれない状態が続いていました。このままではダメだと思っていたので、引退後には、もう一度理解し直すことから始めました。

〔夏休み〕

夏休みは、理系科目と英語に重点を置きました。理系科目(数、物、化)は、学校で配られた問題集を使い、今までのテストや模試で点を取っていたように單元を中心に勉強を進めました。

英語も、学校で配られた長文問題集を使って、なるべく毎日、英語の文章を読むようにし、単語帳は同じものを何周もやりました。私は塾には行っていなかったので、家で生活リズムに気を付けて過ごしていました。

〔2学期～入試直前〕

2学期は、学校のテストや、今までの模試でできなかったもの、覚えきれていないものを、ノートにまとめ、入試直前に自分の苦手な分野を必ず見直すことができるように工夫しました。この時期は、今までの学習内容を定着させるため、新しい問題集や、単語帳は買わずに、これまで使ってきた教材を何周もやって、見直すことが大事だと思っています。

そして、冬になるとインフルエンザなどが流行するので、規則正しい生活をして、免疫力を高め、健康な状態で入試の日を迎えられるよう、体調管理することも大事だと思っています。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

部活動を引退する前は、学校から出された課題をこなし、授業についていくのに必死でした。引退したら、勉強頑張るぞ!と思っていたけれど、引退して以前より自分の時間が増えると、その増えた時間をうまく使えず、最初のうちは、のんびり勉強しかつていました。健康面では、とにかく朝食は食べ、睡眠をしっかりとることに注意しました。テレビやスマートフォンは、勉強が終わった後や、集中力が途切れてしまったときに、時間を決めて、気分転換として利用していました。無理に使用を制限してしまうと、かえってそれがストレスになってしまうこともあるので、適度に使うようにする方がいいと思います。模試の成績に一喜一憂せず、自分の目標に向けて、努力することが大事だと思っています。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

勉強は辛いとき、辛いときもあるとは思いますが、体調管理もしっかり、元氣張っていきましょう。「ここは大学に行きたい!!」という強い気持ちが大切だと私は思います。周りの友達とも支え合い、見守ってくれている先生方や両親への感謝の気持ちも忘れずに受験を乗り越えていきましょう!応援しています!